

化法上の財産処分をしたから行政財産ではない。だから公民館を出ていく理由にならない」とする商工会議所や議員の主張は、地方自治法を歪曲した極めて適正を欠く、勝手な解釈によるものである。市がこうむった損害賠償についても、市当局では現在、顧問弁護士と検討中である。こうした状況から、現時点では、100条委員会を設置する時期ではないと考え、反対する。

賛成討論

池田 寛一

私はこの発議に賛成の立場で討論いたします。

今朝の新聞に、税理士資格のない女性が複数の団体の税務書類を作成し報酬を受けていたとして、詐欺の疑いで書類送検されたとありました。

資格を偽ることがどれほど重いことを示しています。

決裁が必要な事は、当然上からの指示があつて初めて行動を起こせるものと認識しています。そしてその仕事の結果の良し悪しについては、当然、部下ではなく指示を出したものが責任を取るのが社

会通念上のあり方であります。

自治法上、退職したものの責任が問えないということならば、自治法の改正も必要な問題であります。そういうことを議会で要望していくことも考えられます。

私たちが特別委員会を設置し調査しても、行政が出した結果が変わるという保証はありません。しかしやってみなければ分らない。これは多くの市民が望んでいることです。

議会の信頼回復のためにも、全会一致で可決し速やかに行動を起こすことを望み、賛成討論いたします。

山下 博文

私は発議第3号に賛成の立場で討論を行います。百条委員会は、地方自治法100条に基づき、地方議会が設置する調査特別委員会です。自治体の長や議員に疑惑や不祥事が生じた場合、真相を究明するために開くものです。関係者の出頭や証言、記録提出を請求する調査権限があり、通常の委員会よりも大きな強制力を持ち、正当な理由がなく

証言を拒否したり、虚偽の証言をしたりした場合は禁錮刑や罰金刑などの罰則があります。今議会で5人の議員が議員の懲戒処分について一般質問を行いました。しかし十分な答弁が多く真相解明にはほど遠いものでした。結局、元職員が議員辞職のため事実説明ができないこと、履歴の捏造を指示した者、直接履歴の捏造に携わったものは不明のままです。市長は、古川役場は、不正とは縁遠い、町民本位の職場で、町民の信頼を得ていたと思っていた。合併直前になって、すべてが台無しになるような行為がおこなわれていたことは、大変残念であり、皆様に申し訳ない。今はどれだけでも早く、市民に信頼される市役所にするのが私の責務と答弁しております。市民が今、求めていることは、事実の解明。真相の追及です。古川の議員の皆さんに訴えたい。あなた方が生まれ育った街で起きた不幸な出来事を、あなた方が解明せねば、誰がやるのか。議会も今こそ一つになって事実解明に取り組みましょう。

9月定例会の提出議案等における各議員の賛否一覧

※これ以外の案件等は全会一致で可決等されています。

議 案 名 等	議 員 名	前川 文博	中嶋 国則	田中 清安	洞口 和彦	野村 勝憲	後藤 和正	菅沼 明彦	内海 良郎	森下 真次	谷口 充希子	天木 幸男	葛谷 寛徳	山下 博文	池田 寛一	籠山 恵美子
発議第3号 飛騨市職員への懲戒処分に関する調査決議	原案否決	6:8	○	×	×	○	○	×	×	×	×	×	—	○	○	○
認定第1号 平成26年度飛騨市一般会計歳入歳出決算の認定について	原案認定	13:1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	×

※○は賛成、×は反対、棄は棄権、欠員2

※議長は裁決に加わりません。但し可否同数の場合は議長裁決となります。

編集後記

“梶田隆章先生、ノーベル物理学賞受賞おめでとうござい
ます”

国道41号富山市から高山市までの90キロは、「ノーベル街道」と呼ばれています。この街道から5人目の受賞となりました。現在、KAGRA大型低温重力波望遠鏡での、ブラックホールの解明などをめざし、人類初となる「重力波の直接観測」が始まります、近年6人目の受賞が期待されます。

早急に、宇宙開発神岡基地を計画したいものです。

9月定例会は決算議会とも言われます。いつもよりお金の金額が多くなっています。市民の皆さまから頂いた税金が適切に使われていたか、その結果市民の生活が向上したか、市民に代わって評価するものです。皆さまにも、税金の使われ方等関心を持って頂きたいと思っています。

(菅沼 明彦)

